

# 地域と共に歩む

富山商工会議所議員  
インタビュ⑧

L型自動包装機の原点  
HP-10 since 1982 此処にあり



一步踏み出し連携することで  
新たな価値やビジネスの創出を

富山商工会議所 常議員

株式会社ハナガタ

代表取締役社長 花方 淳

株式会社ハナガタは、熱収縮のシュリンク包装機を主力とする包装機械の専業メーカーです。1948（昭和23）年、板金加工を手掛ける花方プレス工業所として創業し、1964（昭和39）年に日本初のシュリンクトネルを開発しました。部品製造から納品後のアフターケアまで自社で一貫して行い、オーダーメイドの高品質な包装機を国内外の顧客に提供しています。75年以上にわたり培ってきた技術をさらに磨きつつ、最新情報の収集にも力を入れ、時代のニーズに対応し続けている同社の代表取締役社長、花方淳さんにお話を伺いました。

## 社長就任時はどうでしたか？

「社長には2009年、44歳で就任しました。現会長の父が70歳を節目と考え予定していたことではありませんが、売り上げが大きく伸びた直後に2008年のリーマンショックで業界全体がずいぶんと落ち込み、ジェットコースターのようにでした。振り返ると、銀行の方との会話で『ハナガタさん、本当に大丈夫ですか？』と心配されたこともありました。苦しい時期でしたが、東京、大阪の営業拠点から入る情報や、大手からの厳しい受注を乗り越えて得た技術やノウハウのおかげ

で、新たな需要開拓や新商品の開発を進めることができました」

## 今後、富山のために何がしたいですか？

「私は仕事で全国各地や海外を訪れますが、富山は地方都市の中でも特に活気があり、自然と食に恵まれた豊かな場所だと感じます。お寿司も格別です。当社のお客様のほとんどは初めて富山を訪れ、雄大な立山連峰の景色や新鮮な魚、おいしいお酒に感動されています。だからこそ、市民の皆さんにも富山をもっと誇りに思ってもらいたいと考えています。富山市がニューヨーク・タイムズの『2025年に行くべき52カ所』に選ばれて、私も富山についてもっと学ぼうと思いい、紹介されていた店のカレーを早速味わってみました。そのおいしさもさることながら、キーマ一本勝負というこだわりにも富山らしさを感じられて、とても良かったです」

## 会員の方々へメッセージをお願いします。

「商工会議所を数回高いと感じている方も多いようですが、会員の皆さんの経営相談に応じ、伴走型支援を行っています。悩みや困りごとは誰かに話すだけで気持ちも軽くなるものです。1人で抱えず、気軽にご利用ください。交流の機会にも積極的に参加されることをおすすめします。一步踏み出すことで人との繋がりが思いがけないビジ

ネスが生まれる可能性があります。同業、異業を問わず、技術やサービスを連携させることで強みを活かし、弱みを補完して新たな価値やマーケットが創出されると考えています。当社でも、システム全体の対応を求められるようになり、他社と連携して取り組むケースが増えて、日頃からのネットワーク構築の重要性を強く感じています」



▲本社からの眺め。田園越しに望む立山連峰の大パノラマが来訪者の心を和ませて、会話も弾むそうです

## 取材を終えて

還暦を迎える今年を「新たなスタートを切る年」としていた花方社長は、かつて娘さんの演奏を聴いて以来、憧れていたテナーサクソスを習い始めたそうです。楽器の経験はなく「初回のレッスンで音が出て、先生にも褒められて調子に乗ってしまった」と笑いながら、「いつかジャズを演奏してみたい」と目標を語ります。当所の企業視察をはじめとする活動や要望にいつも快く協力してくださる社長の挑戦に、エールを送ります。

株式会社ハナガタ

創業 1948(昭和23)年4月  
富山市横内417番地

